

指導主事訪問：2・3年生が特別の教科「道徳」の学習にチャレンジ！ ～ めあてを達成するために大切なことは何だろうか？ ～

9月4日(火)には、指導主事訪問があり、2・3年生の特別の教科「道徳」の授業を見させていただきました。今回は、「やりぬく心(希望と勇気、努力と強い意志)」がテーマでした。「逆上がりができるようになりたくて、休み時間や夏休みに一生懸命に練習に励み、夏休みの終わりにとうとうできるようになる」というお話の主人公に自分を重ねて考え、「めあてを達成するために大切なことは何だろうか？」ということについて、みんなで話し合いました。



「話し合いシート」「心メーター」「付箋」などの思考ツールを使い、自分が心の中で思っていることをみんなにも見えるようにして意見を交換しながら、「大切なこと」について次の4つに分類整理していました。

- | | |
|----------------------|------------------|
| ①あきらめないで練習すること | ②毎日続けて練習すること |
| ③応援してくれる人に見せたいという気持ち | ④逆上がりのコツ(正しいやり方) |

学習の最後の場面では、この日の学習について、次のような視点で振り返りをしていました。

「ぼく(私)のめあてを達成するために大切なことは〇〇だと思います。これから〇〇をできるようにするために、〇〇していきたいと思います。」

今後、2・3年生の子どもたちは、今日、自分が心に決めたことを実行していくこととなります。時には、思い通りにいかなくて、あきらめそうになることもあるかもしれませんが、でも、そんなとき、この日に学習した「大切なこと」を思い出し、互いに声を掛け合って再び「やる気スイッチ」を入れられるように働きかけていきたいと思います。2・3年生のみなさん、素晴らしいがんばりでした。

中川っ子のがんばり

第43回きたうら水泳競技大会

8月25日(日)に角館小学校のプールで行われた標記の大会に、5年生のY.Rさん(アクアスポーツ少年団所属)が出場し、力強い泳ぎをし、下記の成績を収めました。

- ◇5～6年男子200Mフリーリレー：第2位(3'05"36)
- ◇5～6年男子100Mドレーリレー：第2位(1'31"88)
- ◇5年男子50M自由形：第2位(40"88)
- ◇5年男子25Mバタフライ：第1位(22"12)
- ◇5年男子50M平泳ぎ：第2位(53"84)

凌久さんは、「初めて出場した大会で、いい結果を出せてよかったです。次の大会に向けて、タイムを縮めていきたいです。」と、次へ向かう意欲満々です。今後の活躍が楽しみです。自己ベストを目指してがんばってください。



続・全国学力テストの結果ができました

学校報「三省No.17」に引き続き、今回は算数の課題についてまとめてみました。

算数：全国平均ならびに秋田県平均を上回りました。「①数と計算（計算のきまり、分数、小数など）」「②量と測定（面積、割合など）」「③図形（四角形、合同など）」「④数量関係（式の意味の読み取り、棒グラフ、関係を表す式、伴って変わる二つの数量、比例など）」の4つの領域の中では、②は県の平均よりも10ポイントほどよく、①と④は県と同等で、③が5ポイントほど低い結果となりました。また、国語と同様に、じっくりと考え、最後まで回答しようと努力した跡がうかがえました。設問ごとの全国や秋田県の正答率と比較すると、課題となっているのは、次の5点でした。（①②③④ともに国よりも県の平均が上でした。）

①合同な2つの台形をずらしたり回したり裏返ししたりしたときに、「できる形」「できない形」を弁別すること（4年「平行四辺形、ひし形、台形」、5年「合同な形」）

- ・「示されている形を2つに分けたときに、元の台形と合同な2つの台形ができるか」などのように根拠を明確にして判断することが大切。（辺の長さ、角の大きさなど）

②示されている「ひき算の計算の仕方の工夫」を読み取り、別のひき算に活用し計算すること（3年「3・4けたの数のたし算・ひき算で成り立つ性質」）

- ・「ひかれる数とひく数のどちらに同じ数を足したりひいたりしても、差は等しい」というような、たし算やひき算に関して成り立つ性質を使って、どのように使って工夫し計算したのかを読み取り、「ひく数に0をたして100にし、繰り下がりもなくしたんだな。」ということをして、与えられたひき算に活用して計算するなど、どのようにして計算したのか、「つまり、こうしたんです。」と言葉で要約して説明する力が大切。

③ひき算について成り立つ性質を活用した「計算の仕方の工夫」の説明を基に、わり算について成り立つ性質を言葉で説明すること（3年「3・4けたの数のたし算・ひき算と成り立つ性質」、4年「整数のわり算」）

- ・4人とも、わり算に関して成り立つ性質を活用した「計算の工夫」については、筋道立ててできていましたが、4人中3人が、わり算の説明で「商が等しい」とすべきところを「差が等しい」と記述していました。「和・差・積・商…」など、算数の用語を使って表現したり説明したりするなど、言葉を通じて考えをやりとりする力が大切。

④示されたわり算の式が、「リボン1m分の代金」を表していることを理解していること（3年「わり算」、5年「小数のかけ算とわり算」）

- ・わり算の計算に関して成り立つ性質や計算の手順を基に、求めた数値の意味の説明をする力が大切。

⑤示された場面の状況を基に、示された条件の客が、時間以内にレジにたどり着けるかどうかを判断すること（5年「百分率とグラフ」、6年「比例」）

- ・示された場面の状況から、単位量あたりの大きさ「1ポール間進むのにかかる時間」を求め、それを根拠にして「できるかできないか」を判断し、説明する力が大切。

※6年生には、本日、個人票をお渡ししましたので、これまでの学習の取り組み方について振り返り、「よくできている点」「今後の課題として取り組む点」など、お渡しした個人票などを基に、お子さんと対話していただけるとありがたいです。どうぞよろしくをお願いします。



※また、他の学年においては、「1・2年生の基礎」を土台にして、3年生以上の学習が組み立てられていること（＝算数・数学の学習は、それまでの学年の積み重ねでできている）を基に、どの学年でも、それまでの学年の学習内容を踏まえ、しっかりと積み重ねていきたいと考えています。

児童質問紙については、次号に掲載します。